

9月20日はバスの日。

1903年（明治36年）に京都市の二井商会という会社が堀川中立売～七条～祇園の区間で乗合バスの運行を開始したことを記念して、1987年（昭和62年）に制定されました。

それから110年以上。バスは大きく進化し私たちの生活になくてはならない交通機関へと変化しました。今回はそのバスの日に関連した情報をご紹介します。

路線バスの主流はノンステップバスに

路線バスがかつてと比べて最も変わったのは低床化が進んだこと。

出入口の段差を無くしたいいわゆる「ノンステップバス」が一般運行を開始して30年以上、特に2000年の交通バリアフリー法の施行以降は各社の主流となりました。

高速バスには個性派が続々登場

高速バスは以前から2+2の4列シートが主流でしたが、近年ではプライバシーに配慮し2+1や1+1+1といった3列シートが人気。

特に西日本地域で採用するバス会社が増えています。

この他にも女性専用便の設定や一部の夜行バスに採用された1+1の2列で完全個室制のデラックスシート、逆に詰込み型シートを採用する代わりに格安料金に設定するなど各社で工夫を凝らしたサービスを展開しています。



最近の路線バスで主流となっている「ノンステップバス」。写真の車はさらにハイブリッド車となっています。

コミュニティバスの拡がり

近年特に目立つのは「コミュニティバス」の拡がりです。

コミュニティバスは1980年に東京都武蔵村山市で始まったのが先駆けとされ、同武蔵野市の「ムーバス」の成功により全国に拡大しました。公共交通機関の空白地域を埋める役割として現在注目されています。

一般的には自治体がバスを購入しバス会社に運用を委託する形態が取られています。

9月には全国各地でバス会社によるイベントも行われます

●バスの日イベント バス祭り2018 in 晴海（東京都中央区）

日時：9月15日（土）10：00～15：00

場所：東京都中央区晴海 晴海客船ターミナル（入場無料）

イベント内容：都営バスグッズ等の販売、バス部品購入即売会、スタンプラリー、車両展示、協賛各社による展示販売 など

●第5回信州バス祭り（長野県上田市）

日時：9月16日（日）10：00～15：00

場所：長野県上田市 上田バス本社（入場無料）

イベント内容：県内各社の新旧車両展示、バス部品・記念乗車券の販売、バス洗車機突入体験、おえかきバス展示、バス綱引き大会 など

●青森バスまつり（青森県青森市）

日時：9月2日（日）9：30～14：00

場所：長野県青森市 青森運輸支局構内（入場無料）

イベント内容：県内各社の車両展示、バス部品の販売、子ども制服試着会、バス試乗会（乗車時間60分）、お楽しみ抽選会 など

